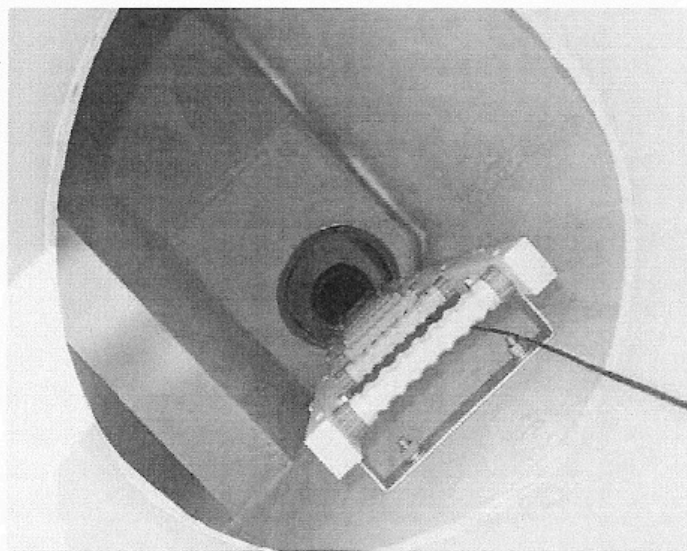


PML工法でマンホール更生 長岡京市の工事で採用 山品建設やシグマらが実施

長岡京市上下水道部はこのほど、平成27年度に発注した公共下水道長寿命化改築等工事その1をポリエチレンのライナーを組み合わせるPML工法により完成させた。工事は、市の下水道長寿命化計画（平成26年度（30年度）に基づき、重要幹線の管渠及びマンホール改築・修繕として



ポリエチレンライニング工法にて更生された特殊マンホールの内部状況

平成27年度に発注されたもので、その1工事が山品建設、その2工事（28年3月末完成）をシグマがそれぞれ施工を担った。

マンホールの更生工事については、市の承認を得てPML工法を採用した。

この工法は、どのようなマンホール形状に対しても対応が可能で、工場製品

であるポリエチレンライナーと強固なモルタルを組み合わせて行うことに

より、品質が安定し、下水道コンクリート構造物の腐食抑制及び耐震補強も兼ね備える工法である。

工事を担当した山品建設の麻野博志取締役工事部長は「大掛かりな機材を使わないため、作業の騒音などが少なく、作業スペースも小さく保たれるので、地域住民の方々にご迷惑をかけることなく完成させることができました。材料は、工場製品で環境負担が少なく下水道用中においても施工が可能であるとともに炭素繊維を組み合わす事で耐震補強も行えるため、今後、他の自治体や化学薬品を使う工場等にも積極的に展開していきたい」と語っていた。